

令和3年 株式会社内田洋行 年頭ご挨拶

株式会社内田洋行
代表取締役社長 大久保 昇

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

当社グループは、ICT と環境構築で「働き方変革」「学び方変革」「場と街づくり変革」の社会課題解決を進めており、昨年の2020年7月期は、30年ぶりに最高益を更新することができました。特にデジタル化の流れは着実に進んでおり、当社グループも民間企業、小中高大の学校、自治体などでICT関連ビジネスが大きく伸張しています。

しかし、新型コロナウイルス感染症で、経済打撃とさまざまな分断という新たな課題が生じ、需要環境は大きく変化しています。

Windows10 更新によるオンライン化はクラウド利用を大幅に拡大させました。クラウド時代の到来でサービス型ビジネスが民間・公共を問わず広がっています。企業ではセンターオフィスの高度化、サテライトオフィスや在宅勤務でモバイルワーク化が急速に進み、あらゆる働く場の生産性向上が求められています。そして、文教市場では文部科学省「GIGA スクール構想」が大きく前倒しされて実現し、その後は教育データ活用が増大して、教育現場ではICTサポートの充実が求められるでしょう。

こうした「働き方変革」「学び方変革」「場と街づくり変革」の動きは、2025年を境に進む人口減少で予期されたものでありましたが、コロナ禍がそれを一気に加速させました。

当社グループも新たな社会ニーズに対応していくために、事業再構築のスピードを上げてまいります。当社のもつICT関連ビジネスと環境構築関連ビジネス、このハイブリッドな事業構造をよりフレキシブルに結合し、“ハイブリッド・フレックス”モデルの事業体へと進化させ、それによってコーポレートビジョン「情報の価値化と知の協創をデザインする」ことの実現を目指します。この方向性に取り組むことが、内田洋行グループのSDGsと考え、推進してまいります。

本年も、宜しく願い申し上げます。

以上